

(別添1)

事業評価の結果（共通項目）

福祉サービス種別 保育所
事業所名 常田保育園

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
I 福祉サービスの基本方針と組織	1 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 理念、基本方針が文書（事業計画等の法人（保育所）内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 ■ 2 理念は、法人（保育所）が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人（保育所）の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■ 3 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 ■ 4 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 ■ 5 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。 ■ 6 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。 ■ 7 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。 	<p>○保育園の理念・基本方針は、園の重要事項説明書、またホームページに掲載され入園時に保護者に説明され、広く一般に運営方針・基本方針が周知されていました。</p> <p>○運営方針には、保育を必要とする児童や家庭に対して、①「当園」は保育の提供にあたっては入園する乳幼児の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供することに努めます②「当園」は保育に関する専門性を有する職員が家庭との緊密な連携の下に、利用乳幼児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行います。③「当園」は利用乳幼児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、利用乳幼児の保護者に対する支援及び、地域の子育て家庭に対する支援など行うよう努めます。を保育目的にされていました。</p> <p>○理念や基本方針は、園だより等で発信し、職員・保護者に解りやすく周知されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 8 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 ■ 9 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 ■ 10 子どもの数・利用者（子ども・保護者）像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人（保育所）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 ■ 11 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。 	<p>○一時預かり保育や子育て支援事業等積極的に行い、地域社会のニーズを把握していました。内容などホームページに記載し地域の社会福祉事業に取り組まれていました。</p> <p>○子どもの利用動向・子育て支援利用状況等数値化され、保育のニーズを的確に把握し収集されていました。経営状況も、資金収支も行われコスト分析や利用率も検討されていました。</p>
			② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 12 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 ■ 13 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。 ■ 14 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 ■ 15 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。 	<p>○経営課題や保育の内容・組織体制は、法人の会議で方向性を検討し、常田保育園のリーダー会議・職員会で職員への周知を図っていました。</p> <p>○経営課題の解決や改善は、保育園で行い、職員の意見を聞き、法人に挙げて問題点を検討されていました。</p>
	3 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 16 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を明確にしている。 ■ 17 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。 ■ 18 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。 ■ 19 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。 	<p>○保育理念や基本方針に沿って保育目標が具体的に記載され実施されていました。</p> <p>○保育目標は、年度末に全体職員会・クラス会議で検討、反省が行われ次年度の計画課題となっていることが聞き取り調査や書類で確認されました。</p> <p>○目標は定期的開催されるリーダー会議等で話し合われています。延長保育・一時預かり保育については問題点を書面で確認し、捺印もされていました。</p> <p>○保育の問題点は必要に応じて話し合わせ、朝会で確認されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
			② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 20 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。 ■ 21 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。 ■ 22 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。 ■ 23 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。 	<p>○単年度計画の内容は、事業予定表に記載されていました。実行可能な子どもたちが楽しめる具体的なものになっていました。</p> <p>○事業内容は、数値化された具体的なもので、クラスだよりや園だよりで保護者にも報告されていました。</p>
		(2) 事業計画が適切に策定されている。	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。 ■ 25 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。 ■ 26 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。 ■ 27 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。 ■ 28 事業計画が、職員に周知（会議や研修会における説明等）がされており、理解を促すための取組を行っている。 	<p>○計画は、クラス担当職員がリーダーに策定され、年齢にあった行事になっていました</p> <p>○計画は、子どもの持てる力が発揮できるもので楽しく行うために、時期や手順が検討され実施されていました。</p> <p>○行事は、園だよりで報告されていました。振り返りを行い、問題点も職員・保護者に周知され見直しできていました。</p> <p>○職員は、トップダウン形式にせず、会議や個々の相談・アンケートより意見を集約して、反映・提案・決定をしていました。</p>
			② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 29 事業計画の主な内容が、保護者等に周知（配布、掲示、説明等）されている。 ■ 30 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。 ■ 31 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。 ■ 32 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。 	<p>○事業計画は、保護者にも配布され、また園だより・クラスだよりで詳細に周知されていました。</p> <p>○事業報告・計画は、4月と2月に行われる保護者総会で報告されていました。</p> <p>○事業計画において保護者の協力は、積極的に参加があると園長から聞かれました。</p> <p>○事業計画には、年10回ほどの父親保育参加があり保護者とも良好なかかわりが計画されていました。</p>
組4 織福 的社 ・サ ー 画 ビ 的 ス な 取 組 の 向 上 へ の		(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 33 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。 ■ 34 保育の内容について組織的に評価（C：Check）を行う体制が整備されている。 □ 35 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。 ■ 36 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。 	<p>○保育の質の向上については、計画から評価等行われていました。</p> <p>○第三者評価の受審は、初回ですが、評価の結果を基に分析評価を行い、保育の質の向上につなげたいと話されていました。また結果の公表も検討されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 37 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。 ■ 38 職員間で課題の共有化が図られている。 ■ 39 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。 □ 40 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。 ■ 41 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。 	<p>○評価結果の分析は、1期・2期それぞれ終了時に振り返り、課題を文章化していました。分析された結果は、計画に反映されるよう会議で検討し、会議録として記載されておりました。</p> <p>○計画の改善は、必要に応じ見直しがされました。</p> <p>○評価結果は、見直しされ計画に反映されていましたが、一層職員に周知できる内容をお願いします。</p>
II 組織の運営管理	1 管理者の責任とリーダーシップ	(1 管理者の責任)が明確にされている。	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 42 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。 ■ 43 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。 ■ 44 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。 ■ 45 平常時のみならず、有事（災害、事故等）における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。 	<p>○園長は、入園式や年2回行われる保護者総会で保護者や園児に園長の役割と責務について表明されておりました。職員には職員会で職務の長としての役割と責任について話されていることが聞き取りで確認できました。</p> <p>○園長は、常に長としての責務を遂行し、災害や事故などで役割と責務を明確にされていました。また不在時には、権限委任を明確にされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 46 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者（取引事業者、行政関係者等）との適正な関係を保持している。 ■ 47 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。 ■ 48 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。 ■ 49 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。 	<p>○園長は、私立保育所所長研修会等に参加し、遵守すべき法令に基づき、適切な関係が図られる取り組みがされていました。</p> <p>○園長は、幼年教育講演会・視察研修・キャリアアップ研修・長野県保育研究大会等に参加し、また法令遵守のための会に参加し、職員へ法令について周知されていました。</p>
		(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 50 施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。 ■ 51 施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。 ■ 52 施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 ■ 53 施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。 ■ 54 施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実に努めている。 	<p>○園長は、保育の質の向上の取り組みのために職員の意見に常に耳を傾ける姿勢を大切にされている。意見を聞き反映して決定していることが確認できました。</p> <p>○園長は、職員一人一人の研修参加計画表を作成し、職員の質の向上の取り組みを行っています。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 55 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。 ■ 56 施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。 ■ 57 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。 ■ 58 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。 	<p>○園長は、法人理事会に出席し経営の改善・業務の実効性に対するの分析を協議検討されました。</p> <p>○人員配置や職員の働きやすい整備は、適性に応じて園長が取り組んでいました。</p>
育 2 成 福 社 人 材 の 確 保	(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 ■ 60 保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。 ■ 61 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 ■ 62 法人（保育所）として、効果的な福祉人材確保（採用活動等）を実施している。 	<p>○保育園では、必要に応じて適正な人事管理が行なわれていました。</p> <p>○人材確保や育成は、保育士の希望等により、体操・音楽などの部門教育に力を入れていました。また、新人職員はクラス担任の元で1年間実技を身につけていました。</p> <p>○法人では、次年度より新人研修を全体で行なっていく対応がとられていることが確認できました。</p>
			② 総合的な人事管理が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 63 法人（保育所）の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。 ■ 64 人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準）が明確に定められ、職員等に周知されている。 ■ 65 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 ■ 66 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。 ■ 67 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。 ■ 68 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。 	<p>○法人は、重点目標を掲げ、それに基づいた基本方針・保育内容で、職員の向かうべき方向が示されていました。職員は、お互いの保育を高め合う職場環境に向け、会議を通して報告・連絡・相談を行ない、保育を高める協力体制が取れて「期待される職員像等」を目指していました。園長からは、もう少し明文化して職員の周知を図りたいとお話もありました。</p> <p>○人事基準は、法人の基準に基づき法人運営会議において、職員の専門性や職務遂行能力によって配属され、配属先では、職務分担され貢献されていました。聞き取り調査で、楽しくやりがいがある職場とお話を伺うことができました。</p> <p>○雇用関係の周知は、パンフレットが配布され、社会労務士により職員に説明がされていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
		(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。 ■ 70 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。 ■ 71 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。 ■ 72 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 ■ 73 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。 □ 74 ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。 ■ 75 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。 ■ 76 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。 	<p>○労務管理については、労務士が関わり管理されていました。事業報告にも職員間のコミュニケーションを大切にし、お互いの保育を高め、信頼関係や協力体制が取れているとありました。園長からは、チームワークで連携し休みがとれやすい職場になるよう円滑な職員関係を作っているとありました。</p> <p>○職員同士親睦を深められるよう、明るく楽しい雰囲気となっていると聞きとりできました。</p> <p>○園長は、積極的に話を聞く機会を作っていることが確認できました。</p> <p>○法人事業報告には、年間労働時間の短縮について記載され、数値化されていました。特に前年度から年間労働時間を8時間短縮されたことが報告されていましたが、行事等の時には時間外になることがあり、時間内に勤務が終わらない実態がありました。</p> <p>○職員の雇用無期転換ルールの周知及び確認が記載され、職員に労務士からの説明も行われており、安心して働ける職場づくりに取り組まれていました。</p>
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 77 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。 ■ 78 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。 □ 79 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。 ■ 80 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。 ■ 81 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末（期末）面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。 	<p>○職場では、職員アンケートや随時園長と面接を行い、目標の確認や個人の悩みなどを聞き、これからの方向性の確認に取り組まれていることが聞き取りや園長から確認が取れました。</p> <p>○職員一人ひとりの目標項目、目標水準、目標期限等、明確に記録され進捗状況が確認でき、目標の達成感が得られる取り組みを一層期待いたします。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b)	<input type="checkbox"/> 82 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 83 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 84 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 85 定期的に計画の評価と見直しを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<p>○保育所が目指す期待される職員像は、より職員が、理解しやすく具体的なものが基本方針や計画の中に明示されることを期待します。</p> <p>○保育指針の改定に伴い、活動や行事の狙いを確認するとともに、子どもたちが楽しみ主体的になれる活動を提供するために、年間職員研修が計画されていました。専門知識やキャリアアップの参加計画には、参加者名も記載され取り組まれていました。</p> <p>○研修は、復命もされ、全職員が周知され、それぞれ確認が取れる仕組みが確認できました。</p>
			③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 87 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 88 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<p>○職員は、専門資格取得されています。経験年数や技術の水準にあった研修が計画され、技術の向上に努められていました。</p> <p>○職員は、積極的に研修に行き、自身の保育感を客観的に見つめる機会を大切にしていると、園長から聞き取れ、職員からも研修の機会や研修への配慮がされていると聞き取れました。</p> <p>○研修は、外部研修を中心に計画され、必要に応じ支援の質の向上に努めていました。事業計画に研修レポート等の園内研修や、外部研修を通して自己研鑽に努め、職員が子ども、保護者一人一人に対し、受容的関わりを丁寧に行う為として研修の重要性が記載されていました。</p>
	(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 92 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。 <input checked="" type="checkbox"/> 93 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。 <input checked="" type="checkbox"/> 95 指導者に対する研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 96 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<p>○実習生の受け入れは、専門職育成に積極的にを行い、短大生を中心に、高校生の体験実習、中学の職場体験等の受け入れを行っていました。</p> <p>○専門職取得実習には、受け入れ校と連絡を取り、専門職としてのプログラムが作成されていました。</p> <p>○実習生の受け入れは主任保育士が窓口となり調整、連絡が行われていました。</p> <p>○実習指導者は、研修終了後クラス担任として指導を行なわれていました。他職員のアドバイスや相談に応じる体制も整っていました</p> <p>○保育専門職の育成に積極的に取り組み、受け入れを行っていました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点	コメント
	3 運営の 透明性 の確保	(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a)	■	97 ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<p>○運営方針は、法人としてホームページ等を活用し、運営の情報公開を行い、園として保育内容事業計画、事業報告、予算、決算情報が公開されていました。</p> <p>○第三者評価の受審は、初回ですが園長は積極的に取り組み評価に対し、内容に基づき改善や対応を行っていきたい、また公表も積極的に検討されることが確認されました。</p> <p>○法人は、理念や基本方針を明確にし保育園としての保育方針、保育理念がホームページに記載され、地域に向けて意義や役割を明確にできていました。</p>
				■	98 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。		
				■	99 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。		
				■	100 法人（保育所）の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人（保育所）の存在意義や役割を明確にするように努めている。		
				■	101 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。		
			② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a)	■	102 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。	<p>○保育園は、事務、経理、取引において、法人の規定に沿って処理されており、理事会、評議員会において承認されていました。</p> <p>○事務、会計処理は、会計事務所や社会労務士に相談され、助言を受けて処理されていることが確認できました。</p> <p>○保育所の出納においては、内部監査を行い定期的に確認されていました。</p> <p>○事業・財務に関しては、行政監査、会計事務所等の指導・チェックがおこなわれ、適切に処理され、経営改善がされていました。</p>
				■	103 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。		
				■	104 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。		
				■	105 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。		
				■	106 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。		
				■	107 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。		

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント			
4 地域との交流、地域貢献	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a)	■ 108	地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○園では、子育て支援事業として、ポッポ広場（1～2歳児対象）、どんぐり広場（0歳児対象）を月1回ずつ開催していました。家庭や地域の中での子育ての知恵や経験を共有し、季節に合った遊びを親子で楽しく行って行っていました。 ○園では、どんぐりフェスティバルが開催され地域の方々との交流できる場を提供していました。 ○園開放の広場を定期的に催し、園や子供の理解を得る取り組みを行っていました。 ○園では、水泳教室を月1回開催し地域の施設（私設）を活用していました。			
				■ 109	活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。				
				■ 110	子どもの個別的状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。				
				■ 111	保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。				
				■ 112	個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。				
				■ 113	ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。				
	(2) ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a)	■ 114	地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。	○小・中学校、高校等の交流会やボランティアの受け入れは、学校と打ち合わせされ、行われていました。小、中学生に対しては、子どもに対する関わりについて等の説明を行っていました。 ○地域ボランティアとの交流は、地区にある教会の方の訪問により、歌の披露や紙芝居・絵本の読み聞かせ・足ふきマットの提供を受けていました。 ○学校との協力は、運動会の参加、体験訪問、東小学校4年2組とのゲーム等の交流が行なわれていました。 ○小学校の先生の保育体験の受け入れを行なっていました。				
			■ 115	ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。					
			■ 116	ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。					
			■ 117	学校教育への協力を行っている。					
			(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。		a)	■ 118	当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○個々の子どもに応じ、地域の関係機関に連絡を取り、地域で必要なサービスが受けられるよう支援をしていました。 ○卒園後もその子が地域で育つよう各方面と連携をとる取り組みを行っていることが確認できました。
							■ 119	職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	
■ 120	関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。								
■ 121	地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。								
■ 122	地域に適当な関係機関・団体がいない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。								
■ 123	家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。								

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
		(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 124 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。 ■ 125 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。 ■ 126 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。 ■ 127 災害時の地域における役割等について確認がなされている。 ■ 128 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。 	<p>○子育て支援事業を開催し、園を定期的に開放していました。</p> <p>○保育所の特性で家庭では、体験できない遊びや、園長を始め保育士が子育てのアドバイスを伝えるなどの支援活動を行っていました。</p> <p>○お母さん方の情報交換や親睦の場にもなっていました。</p> <p>○災害時等緊急時には、一時預かり保育も行われ、一時預かりの担当職員が不安のない保育を行っていました。</p>
			② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 129 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。 ■ 130 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 ■ 131 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。 ■ 132 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。 ■ 133 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。 ■ 134 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。 	<p>○法人は、地域社会の福祉ニーズに努め、行政や民生児童委員等の会議に参加し把握に努められていました。</p> <p>○園事業計画に、地域と一体となって子育てを行うと掲げ、園長は、法人以外の連絡協議会議などに出席され、地域のニーズに対応する取り組みをされていました。</p> <p>○園は、一時保育事業・子育て支援事業に取り組み、家庭での育児困難の対応、家庭や地域での子育てに知恵や子育て経験を共有し、不安や悩みを人とのつながりの中で解消できるよう対応されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	眼	点	コメント
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 135 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 136 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。 ■ 137 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。 ■ 138 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。 ■ 139 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。 ■ 140 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。 ■ 141 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。 ■ 142 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。 	<p>○保育の倫理観は、職員会議で園長より伝え、人権的配慮が子どもに対してなされているか確認されていました。</p> <p>○保育指針の改定もあり、子どもたちを尊重し、自主性の持てる保育に取り組まれました。子どもたちは、自分たちの考えを持ち自分たちで問題（友達とのトラブル）を解決することの大切さを感じる保育に取り組まれていることが聞き取りで確認できました。</p> <p>○子どもの尊重や人権の配慮のために、自由保育の見学やキャリアアップ研修参加、園長の職員育成等取り組まれました。</p> <p>○障がいを持つ子どもとの交流、受け入れを積極的に行い、お互いを認め合い尊重しあう気持ちを育てていました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 143 子どものプライバシー保護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 144 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 145 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。 ■ 146 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。 ■ 147 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。 ■ 148 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。 ■ 149 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。 	<p>○虐待防止のための研修に参加して、発見のポイントのマニュアル等を作成され、「子どもや親の様子、変化を注意深く見守ること。その時は、具体的に情報を時系列で記載すること」などが明記され、職員会で周知されていました。</p> <p>○虐待の疑いが記録された時は、園長から常務理事・保健師・市子育て支援課に連絡され、対応するチェックリストがありました。</p> <p>○職員の聞き取りにも、家庭での虐待には、保護者が迎えに来ても帰りがたらない、昼食時など変にお代わりをする、体にあざなどないか、傷については、母親や保護者に確認を取るなどの取り組みが行われていました。</p> <p>○園長は、常に保護者や職員に対しアンテナを張り、プライバシー保護・権利擁護・規定に基づく保育が行われているかに注意をはらわれていました。</p> <p>○人権侵害や虐待等不適切な事案の発生に対応する方法は明記されていました。</p>
		(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 150 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。 ■ 151 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。 ■ 152 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。 ■ 153 見学等の希望に対応している。 ■ 154 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。 	<p>○入園希望の見学の際は、1家庭ごと個別に対応し、話しやすい雰囲気づくりに努め、丁寧に質問に応じて対応していると聞き取ることが出来ました。</p> <p>○保育園は、利用者に概要、園の願い・園の目標・園の特色・園の運営内容が記載されたパンフレットを作成し、写真・絵・楽しい活動の様子が記載され、子どもにも楽しさが伝わるものでした。</p> <p>○入園希望者には、園内の見学、説明も行って確認できました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
			② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 155 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。 ■ 156 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。 ■ 157 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。 ■ 158 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。 ■ 159 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。 	<p>○園パンフレットや入園時の「重要事項説明書と保育園生活について」に保育内容が細かく記載されていました。</p> <p>○「常田保育園だより」には、保育の変更時間や内容についてお知らせされていました。</p> <p>○玄関には、当日の配布物や特に気を付けることのお知らせが掲示されており、お迎えの保護者への声掛けもされていました。</p>
			③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 160 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。 ■ 161 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。 ■ 162 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。 	<p>○転園等の際は、申し送り文章を転園先の園に送付し、連携を取られていました。</p> <p>○利用が終了した後の学校との連携は、個々の子どもに対して行われていることが確認できました。</p>
	(3) 利用者満足の向上に努めている。	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 163 日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。 ■ 164 保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。 ■ 165 保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。 ■ 166 職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。 ■ 167 利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。 ■ 168 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。 	<p>○連合会保護者アンケートで要望を調査、回答、改善されていました。また会話での対応ができるよう取り組まれていると、聞き取りができました。</p> <p>○年度初めには、家庭訪問を行い利用者の希望や満足度など聞かれているとのことでした</p> <p>○「常田保育園だより」には、通常保育以外の利用希望のお知らせや行事の参加等のお知らせもあり、保育の不安に対応されていました。</p> <p>○今回の利用者アンケート調査結果も大方の保護者は、満足されていました。コメントに希望や要望が記載されていました。法人や行政への希望もありましたが、不審者対応に不安を持たれていました。不審者訓練もされましたが一層の安全と保護者への対策の周知をお願いいたします。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
		(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 169 苦情解決の体制（苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置）が整備されている。 ■ 170 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。 □ 171 苦情記入カードの配布やアンケート（匿名）を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。 ■ 172 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。 ■ 173 苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。 ■ 174 苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。 ■ 175 苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○重要事項説明書には、「要望・苦情等に係る窓口」について記載され、第三者委員の連絡先も記載され対応がされていました。また保護者会連合会を通しての要望事項の受付も行うことが記載されていました。</p> <p>○園内の見やすい所に、重要事項説明書や要望・苦情受付の掲示があり、周知がされていましたが保護者が申し出しやすくするために意見箱等の設置をお願いいたします。</p> <p>○苦情要望・解決の書式は確認できましたが、要望がないとのことで保管はありませんでした。</p> <p>○今回のアンケートや要望はフィードバックをし、保護者の理解を求めたいと話されていました。</p> <p>○今回の調査の相談や希望内容の検討を行い、保育の質の向上をお願いいたします。</p>
			② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> □ 176 保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。 ■ 177 保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。 ■ 178 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。 	<p>○保護者の相談は、担任や園長が行っていましたが、複数の職員に相談できることを明文化し周知されることをお願いいたします。</p> <p>○保護者の意見は、家庭訪問や送迎時に口頭・または連絡ノートを通じて伝えられていましたが、プライバシーが守れる相談しやすいスペースの確保と周知をお願いいたします。</p>
			③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 179 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。 □ 180 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。 ■ 181 職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。 ■ 182 意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。 ■ 183 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。 ■ 184 意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。 	<p>○相談の手順や記録方法は確認できました。</p> <p>○登園、降園時に職員が直接対応していました。職員はコミュニケーションを大切に傾聴されていました。</p> <p>○保護者の要望等を記録し、全職員が周知、改善、対応出来る取り組みを希望致します。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 185 リスクマネジメントに関する責任者の明確化（リスクマネジャーの選任・配置）、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。 ■ 186 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）等を明確にし、職員に周知している。 ■ 187 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。 ■ 188 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。 ■ 189 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。 ■ 190 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。 	<p>○重要事項説明書には、事故を防ぐための記載があり、全職員で取り組まれていました。</p> <p>○朝夕の送迎時に子どもの身体状況、健康状態、心の状態を確認し、保護者と園とで確認一致されるよう、協力をお願いしていました。</p> <p>○保育室・園庭・遊具の定期点検を業者に委託し、年2回行っていました。</p> <p>○保護者に安全保育の取り組みを周知されました。保護者からも気づいたことを伝えていただき、子どもの安全のための情報共有を行っていました。</p> <p>○子どもの毎日の健康観察（検温・家庭との情報）を行い、日頃と変わった様子がないか常時配慮がされていました。</p>
			② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 191 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。 ■ 192 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。 ■ 193 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。 ■ 194 感染症の予防策が適切に講じられている。 ■ 195 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。 ■ 196 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。 ■ 197 保護者への情報提供が適切になされている。 	<p>○感染症マニュアルは、整備されていました。毎年嘔吐処理の仕方をシュミレーションされていました。職員には、研修を行い意識を高めていました。</p> <p>○重要事項説明書には、「健康感染症について」記載され対応がされていました。</p> <p>○登園してはいけない、または控えるべき病気、早急に治療が必要な病気の対応が明確にされていました。特に登園前の検温等健康状況の把握をきちんと行い、感染予防に対応していました。</p> <p>○感染症、登園許可については、医師の意見書・保護者用の登園届・インフルエンザ治療届の用紙が整備され、感染予防の徹底を図っていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価着	着眼点	コメント
			③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 198 災害時の対応体制が決められている。 ■ 199 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。 ■ 200 子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。 ■ 201 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。 ■ 202 防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。 	<p>○重要事項説明書には、防災対策について記載され、安全に火災・地震・不審者からの避難に努め、火災時は、オクレンジャーで保護者に連絡し、安全に保護者のお迎えまでお預かりしていますといった対応が記載されていました。</p> <p>○災害時の避難場所は、最寄りの小学校（東小学校）になっており、毎月の避難訓練が実施され、防災教育がされていました。非常時には、関係機関（長野パトロール・消防署・第一消防分団）の協力を得られる体制が作られ、非常ベル・防犯カメラが設置されていました。</p> <p>○不審者対策として、長野パトロールや警察への通報システムを活用し、避難訓練をされていました。日頃より地域、近隣の幼保育園、学校等と連携し情報の共有を行っていました。</p>
2 福祉サービスの質の確保	(1)	提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 203 標準的な実施方法が適切に文書化されている。 ■ 204 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。 ■ 205 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。 ■ 206 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。 ■ 207 標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。 	<p>○保育事業計画には、保育指針に沿って園児の状況や個性に合ったもので、自己肯定感を持った乳幼児の豊かな情緒を形成すべく、一人ひとりの子どもたちと保護者を受容し、信頼関係を大切にしたい保育を目指した内容になっていました。</p> <p>○園長や主任保育士を中心に、保育の標準的な実施方法、活動や行事の狙いを再確認する。子どもが自ら楽しみ、主体的になれる活動を多くし、自分たちで衣装や歌を考えたり、子どもたちの言葉からセリフを取り入れたりしていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 208 保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。 ■ 209 保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。 ■ 210 検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。 ■ 211 検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。 	<p>○指導計画の定期的見直しは、主任保育士を中心に標準的な実施方法・現状分析・見直しが行われていました。</p> <p>○園長や主任保育士は、標準的な実施方法の見直しや、職員や保護者からの提案や意見を基に検討する場を設け、定期的に反映される仕組みになっていました。</p>
		(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 212 指導計画策定の責任者を設置している。 □ 213 アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。 ■ 214 さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。 ■ 215 保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。 ■ 216 子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。 ■ 217 計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。 ■ 218 指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。 ■ 219 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な保育の提供が行われている。 	<p>○指導計画策定は、主任保育士が中心になり、担当保育士と保育課程に基づき、適切なアセスメントが策定されていました。</p> <p>○アセスメントにおいて、情報収集や課題の明確化について十分に行なわれていない部分が見受けられました。</p> <p>○個々の指導計画は、担当保育士・主任保育士を中心に一人ひとりの子どもや保護者のニーズに沿って策定され、多職種の意見を参考にして立案されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 220 指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。 ■ 221 見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。 ■ 222 指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。 ■ 223 指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。 ■ 224 評価した結果を次の指導計画の作成に生かしている。 	<p>○指導計画の見直しは、主任保育士を中心に検討され、保護者や他職員の意見や同意を得る取り組みがされていました。</p> <p>○指導計画の見直しや変更は、関係職員に周知され徹底されていました。計画や評価の見直しを行い、次の計画に反映される取り組みがされていました。</p>
		(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 225 子どもが発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。 ■ 226 個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。 ■ 227 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。 ■ 228 保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。 ■ 229 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。 	<p>○子ども一人ひとりの保育サービスは、保育指針を基に作成された、園の記録様式により適切に記録されていることが訪問調査で確認できました。</p> <p>○記録は、職員が情報を共有できるように、計画の評価、見直しも行われ、引継ぎや申し送りの機会も定められ、職員間の情報の共有が図られていました。</p>
			② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 230 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。 ■ 231 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。 ■ 232 記録管理の責任者が設置されている。 ■ 233 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。 ■ 234 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。 ■ 235 個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。 	<p>○法人で規定されている個人情報保護規定に則り、記録の管理・保存・廃棄・保護者の了解のもと、情報の提供が行われ、記録の管理が行われていました。</p> <p>○園長は、記録の管理と職員の研修を行い、周知徹底を図っていました。</p> <p>○記録は、園長が管理できる事務室で行われ、不在時は、施錠し管理を行っていました。</p> <p>○保護者にも個人情報の取り扱いに注意して頂き、個人情報保護法に基づき写真等個人の特定できる情報の記載については、「掲載同意書」の提出を重要事項説明書に記載し、周知されていました。</p>